



2026年 9 月17日

各 位

会 社 名 株式会社Synspective
代 表 者 名 代表取締役CEO 新 井 元 行
(コード番号：290A 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役CFO 志 藤 篤
(ir@synspective.com)

**財務上の特約が付されたシンジケートローン契約締結
および営業外費用の計上に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケートローン契約を締結することを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 資金借入の目的

当社は、衛星製造・打上げ費用への充当を目的として、本日、金融機関各社との間で財務上の特約が付されたシンジケートローン契約を締結することを決議いたしました。

本件は、防衛省「衛星コンステレーション整備・運営等事業」をはじめとする事業拡大と、それに伴う将来的なキャッシュ・フロー創出力を背景として、金融機関の高い評価と与信承認を獲得したものです。本邦主要金融機関が参画し、宇宙スタートアップ企業の成長基盤を強固にするディールとなったことは、意義深いものと捉えております。

2. シンジケートローン契約の概要

(1)形式	コミットメント期間付タームローン
(2)組成総額	20,000百万円
(3)契約締結日	2026年 9 月18日 (予定)
(4)借入日	2026年 9 月30日 (予定)
(5)借入期間	5年3か月
(6)適用金利	基準金利＋スプレッド
(7)担保	無担保
(8)資金使途	衛星の製造・打上げ費用
(9)アレンジャー兼エージェント	株式会社みずほ銀行
(10)借入先	株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社商工組合中央金庫 三井住友信託銀行株式会社 株式会社りそな銀行 株式会社あおぞら銀行 株式会社静岡銀行 株式会社千葉銀行 株式会社伊予銀行 株式会社紀陽銀行 株式会社広島銀行 株式会社西日本シティ銀行

3. 本契約に付される財務上の特約の内容

- (1) 各年度の決算期の末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額を1円以上に維持すること。
- (2) 各四半期の末日を基準日とする連結の試算表又は報告書等（四半期の場合は、四半期決算短信を含む）において、現預金と将来予定収入額の合計から、有利子負債の合計を引いた値を0円未満としないこと。

4. 営業外費用の計上

本件に伴う借入関連費用として、9月30日に701百万円を営業外費用に計上する見込みです。

5. 今後の見通し

本件は、2026年2月13日に開示いたしました2026年12月期通期の業績予想には一部織り込んでおりましたが、本邦主要金融機関の参画によって当初想定よりも組成金額を最大化でき、それに伴い借入関連費用が増加したこと、および想定以上の金利上昇に伴い純支払利息（支払利息から売上利息を控除）が増加した結果、トータルで費用が187百万円程度当初想定を上回る見通しです。

今後、業績予想の修正が必要となる事象が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上